

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第26号 平成20年12月01日

取ってから投げる！基本動作を大切に...

今期負け越し決定！前半の攻防に明暗



11月30日俣野公園野球場にて、サムライ s とオープン戦を行った。今期の公式戦も全て終了した我がチームは残り試合を楽しむかのように、スコアボード・放送設備を借用し、今日のゲームを結果、勝利しエンジョイしようという考えであった。しかし、戦績は、2つの借金となっている状況から今期勝ち越しを決めるには、残り試合全てを勝利しなければならず、一つも落とせない中で、ゲームは始まった。先攻は我がチーム、3者凡退に打取られ、その裏、今日久々の土屋が先発マウンドに上がった。先頭打者を四球で歩かせ、ブランクが心配された立ち上がりであったが、続く打者をセカンドフライに打ち取り1アウト、3番に2遊間ヒットを浴び、1アウト1、2塁、4番がWP気味のボールを振り、三振に打ち取るも悪球の影響で、2塁ランナーは3塁へ進塁、1塁ランナーも2塁へ進塁され2アウト2、3塁とまたもや初回からピンチを迎える状況となった。続く打者は、1、2塁間ヒットで3塁ランナーはホームへ、この得点は致し方ないが、ライトがハンプルし、ボールを後逸、その間に2塁からランナーが生還し、初回到2点を献上してしまった。しかし、2回、相手投手が突如乱れ、3者連続四球を出し、1アウト満塁、絶好の同点若しくは逆転のチャンスが巡ってきた。しかーし、続く2打者倒れ、結局1アウト満塁の絶好の得点機を逸してしまった。3回には深沢の2ベースで1点を返したが、その裏、三遊間ヒットを捕球したセンターの内野への暴投、続くセンターフライエラー、その後の内野への暴投にて、3点を献上し、結果的に今日の致命傷となった。この3点も1点は致し方ないが、余計な2点は先程のライト同様捕球してから投げる、投げる時にはいつものキャッチボール同様、受け手が捕球出来るように、投げるという基本動作が若干御座なりになった結果であろう。決して勝利出来ない状況であっただけに、悔いが残る敗戦である。何か感じるがこのようなゲームが今期非常に多いような気がする。過去、負け越しは創部以来1度経験しているが、借金3は未知である。せめても、残り2つを勝利し、-1で今期を終了しよう！